

青山学院の一貫教育と特色



キリスト教教育

あなたはかけがえのない大切な人であると伝える

青山学院は、あらゆるプログラムを通じて知的成長を促し、高い寛容性・他者理解・個性尊重のもとに多様な世界と積極的に向き合う人、愛と希望をもってすべての人と社会に仕えていくグローバル社会のリーダーの育成を目指しています。その学院教育の基盤として流れているのがキリスト教信仰です。一人ひとりが神に愛されているかけがえのない存在であることを実感できるよう、本学院ではそれぞれの年齢に応じたキリスト教教育が展開されています。

学院にある8つのチャペルで日々行われる礼拝は、学院教育において最も大切な時間です。讃美歌を歌い、聖書の言葉に耳を傾けるひとときを通して、自分を振り返り、隣人を覚え、世界を見つめ直す機会としています。初等部以上の学校では、授業を通して、キリスト教と聖書について全員が学びます。奉仕活動を実践する学生・生徒の団体、聖歌隊やゴスペル、ハンドベル、オルガンなどのクラブや同好会活動も活発です。各学校間の交流もしばしば行われます。

歴史と伝統によって紡ぎ出してきた校風、そして整備された教育環境のなかで、すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーとしてのスピリットとマインドと行動力を身につけていきます。

国際交流

世界とともに生きるために、世界とともに学ぶ

青山学院にとって、国際交流は創設時からの使命です。現在、各学校がそれぞれ特色ある国際交流プログラムを実践しています。

初等部、中等部、高等部では、オーストラリアや英国、韓国、イタリア、中国などの伝統ある学校と相互訪問や留学プログラムを実施しています。

大学では国際センターが中心となって留学生の派遣・受け入れを行い、海外語学・文化研修や海外インターンシップの実施など国際化への取り組みを着実に進めており、共生の意識を備えた青山学院らしいグローバル人材を育成しています。

また、国際交流の場として開設されたインターナショナルcommonsでは、初等部生から大学・大学院生までが利用可能な「チャットルーム」を設置し、協定校からの交換留学生等をチャットリーダーとして、外国語での会話と異文化コミュニケーションが日常的に体験できます。



社会貢献

ボランティア活動とサービス・ラーニング

青山学院は、使命を見出し、進んで人と社会とに仕え、その生き方が導きとなる人、サーバント・リーダーの育成を掲げ、社会に貢献する人材を育てることを目的に、各学校において様々な活動、取り組みを行っています。

初等部、中等部、高等部では、知的障がい者支援施設での交流や、養護老人ホームでの奉仕活動などを通じて、ボランティア精神の涵養を図っています。

大学では、社会貢献活動と学習を結びつけ、正課の科目として取り入れたサービス・ラーニングを通じて、学問的・人間的成長を促し、サーバント・リーダーの育成に努めています。2022年4月には、ボランティアセンターを発展させたシビックエンゲージメントセンターを開設し、地域活性化やソーシャルビジネスにも取り組み、社会貢献をさらに推進していきます。

また学院の横断的活動として、特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパンとの連携によるフィリピン訪問プログラムなどを通じて、異文化に触れ、国や人種の垣根を越えて、世界の誰とでも支えあい、ともに生きていく人間形成を目指しています。

Aoyama Gakuin Global Week

2021年より、9月下旬から10月上旬にかけての約10日間を、青山学院に集うすべての人が、地球という多様な文化が共存するコミュニティの一員であることを自覚し、異文化への理解を深め、国際的な問題・事象への関心を高めることを目指す期間として「Aoyama Gakuin Global Week」と定め、様々な行事や活動を行っています。



Pick up!

初等部 プログラミング教育

2021年9月より、株式会社CA Tech Kidsとタッグを組み、プログラミング的思考の涵養に加え、プログラミングスキルを身につけることを目的とした3年間のカリキュラムを作成し、全国初となる本格的なプログラミング教育を導入しました。4～5年生の2年間で、「Scratch」というツールを使い基本的なスキルを学びます。6年生では最大の目的である、プログラミングを用いて様々な問題を解決するという総合的な学びを行っています。



中等部 3年生選択授業

一貫校の強みを活かし、生徒の興味や関心を高め、個性を育み、将来の夢につながる授業をほぼ全教科にわたって行っています。外部から講師を招いたり、街の探索や施設見学に出かけたり、検定試験合格を目指すなど、その内容は多彩で、生徒が興味のある授業を選択することができます。50年以上の歴史をもつ特色ある教育の一つです。



ICT環境の整備

初等部3年生から高等部3年生まで、一人1台のタブレット型端末機器を使った授業を行っています。教育の質の向上、児童・生徒の探究的な学びの深化につながっているほか、在宅でのオンライン学習でも利用されています。



高等部を卒業する生徒のうち基準を満たした生徒は、希望があれば全員青山学院大学へ推薦されます。

学校間連携の試み

幼稚園&初等部

一緒に遊ぶ機会

幼稚園児と初等部生は年2回、交流のときをもちます。年長組の園児が初等部に出かけたり、初等部からは低学年の児童が幼稚園を訪れて遊んだり、お弁当を食べたりするなどのひとときを過ごします。



中等部&大学

Study Room

中等部生が授業でわからなかったことを復習するために、教員志望の大学生ボランティアがサポートします。月～金曜日の放課後に、教科の宿題、定期テストの勉強、学習方法のアドバイス等を行います。



高等部&大学

学問入門講座

高等部では各自の進路を考える機会とするための学問入門講座をオンライン(オンデマンド)形式で開講しています。大学の教員が、専門分野の学問を高校生にもわかりやすく講義するもので、年間約30講座が開講されます。生徒は自分の関心のある講座を自由にいくつでも受講することができ、充実した学びの時間を過ごします。

高等部生の大学授業履修

高等部3年生が青山学院大学の授業を受け、内部進学後にその単位を認定する制度があります。早くから大学の雰囲気を感じることによって、学習意欲の向上をはかっています。

